

環境活動レポート

平成19年度

平成19年12月3日

株式会社 大川商会

目 次

1	ご挨拶	3
2	会社概要	4
3	沿 革	4
4	環境への取り組み 環境方針	5
5	中長期環境目標の設定	6
6	平成19年度 環境目標の設定	7
7	平成19年度 環境活動取組み内容	8
8	平成19年度 環境活動取組み結果と評価	11
9	今後の取組みと平成20年度の目標	13
10	環境法規等要求事項と順守状況	14
11	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	14
12	お問合せ・地図	15

ご挨拶

近年は、地球温暖化、資源の枯渇、環境汚染などの環境問題がますますクローズアップされ、社会全体の環境に対する意識が非常に高まっています。弊社も、ISO9001認証企業として、品質方針に「防災ビジネスを通じて、地球環境の維持改善に努め、地域社会に貢献する」と謳い、環境問題を意識して業務を進めてまいりました。しかし、環境問題については、より身近なところから、より積極的に実行すべきと考え、平成18年2月からエコアクション21に取り組んでいます。社員一人ひとりがエコマインドを持ち、住みよい社会、循環型社会の実現に微力ながら貢献できることを願っています。このレポートで環境に対するささやかな取り組みをご紹介させていただくことで弊社の環境活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月
株式会社 大川商会
代表取締役 大川 賢也

会社概要

項目	内容	
社名	株式会社 大川商会	
代表者	代表取締役 大川 賢也	
資本金	1,000 万円	
所在地	〒451-0025 愛知県名古屋市西区上名古屋2丁目23番10号	
環境担当	環境責任者 GM(取締役営業部長) 村上 武司 担当者 営業事業部 部長 柴田 隆雄 事務グループ 中野 和子 Tel 052-532-1231 e-mail : nakano@okawa-shokai.jp	
事業内容	①消防用設備機器等の販売 ②消防用設備の設計・施工・保守点検 ③その他 上記に関連する業務	
事業規模	売上高	458 百万円
	従業員数	16 名 (平成19年12月現在)
	社屋	2階建 床面積 400 m ²

沿革

年月	内容
昭和42年 8月	消火器、防災機器の専門商社、個人企業「大川商会」として創業
昭和43年12月	株式会社「大川商会」に改組
昭和51年10月	消防設備の点検業務を開始
平成12年12月	点検業務についてISO9002取得
平成14年 2月	同、ISO9001/2000取得
平成18年 2月	エコアクション21 取得

環境への取組み

環境方針

- 1 当社は、企業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目標を定めて、社員全員で継続的な環境改善に取り組めます。
- 2 環境保全活動を推進するため、環境活動評価プログラムに積極的に参加し、これを運用・維持することを確実にします。
- 3 環境に関する法律、規制、協定および組織が定める外部からの要求事項を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。
- 4 全ての企業活動において、省エネルギーの推進、廃棄物の削減と再利用、汚染の予防に務めます。
- 5 グリーン購入を推進し、グリーン製品の提供に努めます。
- 6 全社員に対し、環境方針を周知徹底し、環境保全に対する意識向上を図ります。

平成17年 4月1日
株式会社大川商会
代表取締役社長

大川 賢也

中長期環境目標の設定

エコアクション21の認証を平成18年2月に取得し、過去2年間の環境負荷を参考に環境目標を設定し、平成18年度は活動してきました。平成19年度も同様の目標設定の予定でしたが、中長期環境目標の設定を先延ばしになっていたことを反省し、過去3年間の弊社の環境負荷の実態を再評価し、中長期環境目標を設定しそれに沿って平成19年度の環境目標を設定することとした。

(1) 事務所内のエネルギー使用量推移

項目	単位	平成16年	平成17年	平成18年
		使用量	使用量	使用量
電力従量	kwh	10,750	11,001	12,586
電力低圧	kwh	7,141	9,133	7,240
灯油	リットル	1,064	738	868
都市ガス	m3	31	43	53

項目	単位	換算値 kg・CO2	平成16年	平成17年	平成18年	3年間の平均
			kg・CO2	kg・CO2	kg・CO2	kg・CO2
電力従量	kwh	0.452	4,859	4,972	5,689	11,021
電力低圧	kwh	0.452	3,228	4,128	3,272	
灯油	リットル	2.489	2,648	1,837	2,160	
都市ガス	m3	2.108	65	91	112	
合計			10,800	11,028	11,234	

平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年までに CO2排出量を 6% 削減する。

平成16年～18年の 3年間の平均 11,021 kg・CO2	➡	平成22年 10,360 kg・CO2
---------------------------------------	---	------------------------

(2) 社外(業務用車)のエネルギー使用量推移

項目	単位	平成16年	平成17年	平成18年	3年間の平均
		使用量	使用量	使用量	使用量
ガソリン	リットル	20,844	21,061	23,754	21,886
全走行距離	km	173,000	197,000	214,173	194,724
燃費	km/リットル	8.3	9.4	9.0	8.9

項目	単位	換算値 kg・CO2	平成16年	平成17年	平成18年	3年間の平均
			kg・CO2	kg・CO2	kg・CO2	kg・CO2
ガソリン	リットル	2.322	48,400	48,904	55,157	50,820
CO2排出量 /距離	kg・CO2 /千km		279.8	248.2	257.5	261.0

平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年までに CO2排出量/距離を 6% 削減する。

平成16年～18年の 3年間の平均 261.0 kg・CO2/千km	➡	平成22年 245.3 kg・CO2/千km
--	---	---------------------------

(3)水資源の使用量推移

項目	単位	平成16年	平成17年	平成18年	3年間の平均
		使用量	使用量	使用量	使用量
上水	m3	141	152	182	158
人員	人	15	16.5	18.0	16.5
単位使用量	m3/人	9.40	9.21	10.11	9.60

平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年まで基準値を維持する。

平成16年～18年の 3年間の平均	→	平成22年
9.6 m3/人		9.6 m3/人

但し、平成19年度は平成18年度の急激な使用量増加実績を勘案して、平成18年度実績の2%削減（9.9m3/人）とする。

(4)一般廃棄物の適正処理

廃棄物の分別徹底による再資源化(リサイクル推進)

(5)廃棄消火器の再利用推進

廃棄消火器と消火薬剤缶の回収徹底による資源の再利用推進

(6)グリーン購入・供給の推進

エコマーク認定消火器の積極的啓蒙活動の推進

平成19年度 環境目標の設定

1. CO2排出量削減目標
 - ①事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)のCO2排出量削減
平成16-18年の平均値(基準値)から 3% 削減 (11,021⇒10,690 kg-CO2)
 - ②社外(業務用車)のCO2排出量削減
平成16-18年の平均値(基準値)から 3% 削減 (261.0⇒253.2 kg-CO2/距離)
2. 水資源 平成18年度の急激な使用量増加実績を勘案して、平成18年度実績の 2%削減
一人当たりの使用量 : 10.11m3⇒9.9m3/人
3. 一般廃棄物 分別の徹底により、リサイクルをさらに推進
4. 廃棄消火器 回収を徹底し、資源の再利用を推進
5. グリーン製品 エコマーク認定消火器の情報提供を積極的に推進

平成19年度 環境活動取組み内容

1. CO2排出量削減活動

①事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)のCO2排出量削減活動

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
電力	空調	夏季の冷房設定温度が低い	①設定温度を定め、社員に周知徹底する。→ 28度
	照明	休憩時間に消灯していない	②「省エネラベル」を改善(表示を大きく)し、貼り直ししてお互いに注意しあう。
	OA機器	未使用時も電源が入っている	③エネルギー管理者を選任し定期的にチェックする。
灯油	冬季暖房	冬季の暖房設定温度が高い	①設定温度 → 20度
都市ガス	給湯	特に問題点は無い。	①現状維持

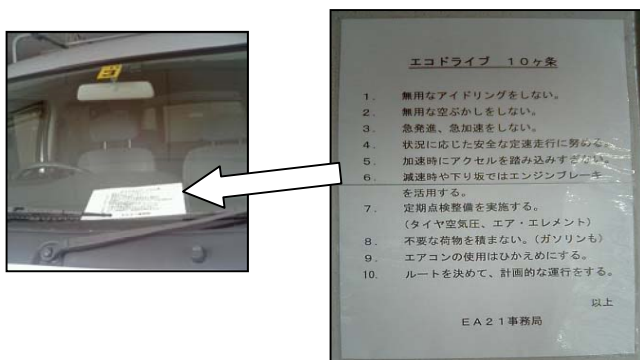
「省エネラベル」を改善(表示を大きく)し、貼り直ししてお互いに注意しあう。



②社外(業務用車)のCO2排出量削減活動

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
ガソリン	業務用	ガソリンの節約意識が薄い	①車両点検の徹底 ②エコドライブの意識向上(急加速・急発進の自粛) ③アイドリングストップの励行 ④効率的な運行計画の策定
		全てガソリン車	①車の更新時は、低公害車や低燃費車を導入 平成18年9月 普通車1台を軽自動車に更新。
	安易に車を利用する	①公共交通機関の利用促進	

「エコドライブ 10ヶ条」を貼り付けて意識向上を図る。



職場内環境方針の掲示



2. 水資源（上水使用量）の削減活動

- ・節水意識の啓蒙と実践の徹底。
上水使用の蛇口に「節水ラベル」を貼り付けてお互いに注意しあう。



3. 分別の徹底による廃棄物のリサイクル推進

- ・資源、廃棄物分別一覧表による分別の徹底

平成19年度



1年前(平成18年度)



整理整頓区割りとチェック表



資源、廃棄物分別一覧表

品名	区分	廃棄物	回収先	注意	備考
紙類	一般廃棄物	紙類	社外委託	紙類	社外委託
プラスチック類	一般廃棄物	プラスチック類	社外委託	プラスチック類	社外委託
ガラス類	一般廃棄物	ガラス類	社外委託	ガラス類	社外委託
金属類	一般廃棄物	金属類	社外委託	金属類	社外委託
家電製品	資源	家電製品	社外委託	家電製品	社外委託
パソコン類	資源	パソコン類	社外委託	パソコン類	社外委託
事務用品	資源	事務用品	社外委託	事務用品	社外委託
その他	資源	その他	社外委託	その他	社外委託

EA21事務局

4. 廃棄消火器回収の徹底による資源の再利用推進

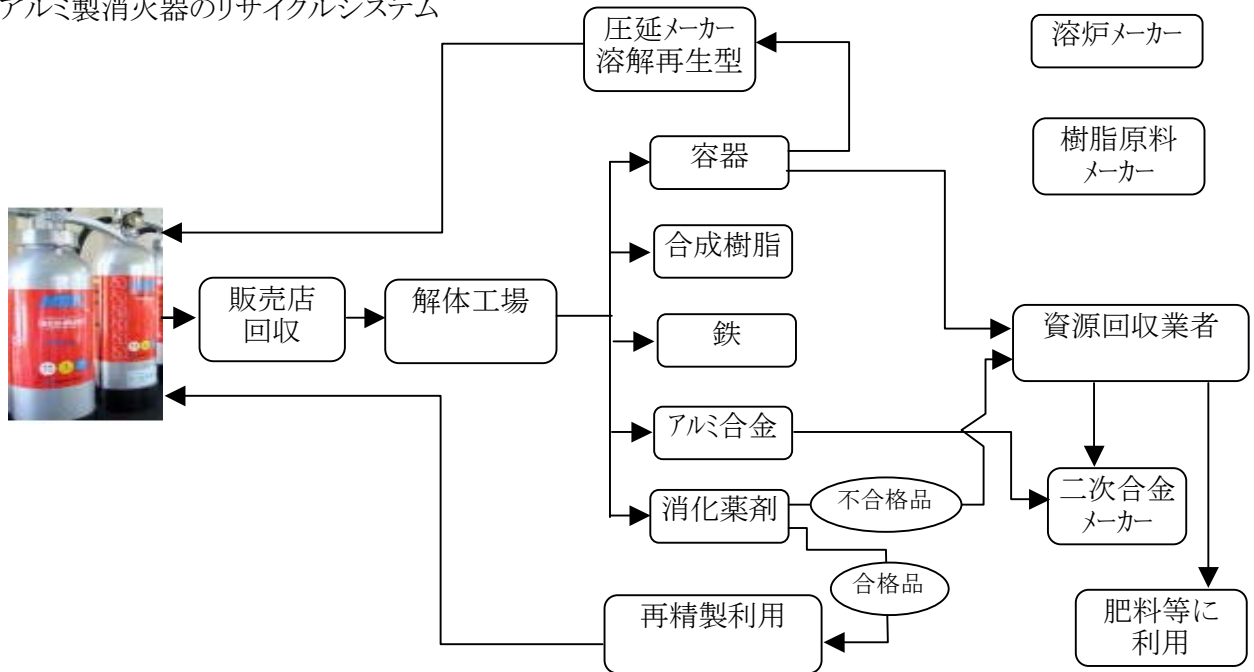
メーカー返却用回収消火器



消火器内の回収薬剤（リサイクル用薬剤缶置場）



アルミ製消火器のリサイクルシステム



5. グリーン製品の提供活動

- ・エコマーク認定消火器の情報提供を推進。



《保守点検サービスの啓蒙》

各種消化設備、避難・警報設備の法定保守点検
 各種消化設備、避難・警報設備の修理補修
 消化薬剤の詰替え、廃棄処理



環境にやさしい強化液消火器による消化訓練の実施



平成19年度 環境活動取組結果と評価

1. CO2排出量推移

① 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)のCO2排出量削減推移

項目	使用量 単位	3年間平均値 基準値 kg・CO2	平成19年度目標		平成19年度実績			
			目標	CO2排出量 kg・CO2	使用量	換算値(注1) kg・CO2	CO2排出量 kg・CO2	
電力従量	kwh	5,173	基準値から 3%削減	10,603	14,173	0.452	6,406	10,444
電力低圧	kwh	3,543			6,851	0.452	3,097	
灯油	リットル	2,215			378	2.489	941	
都市ガス	m3	89	3年間平均 を維持	89	44	2.108	93	93
合計		11,020		10,692			10,536	10,536
事務所面積	m2			400				400
CO2排出量 /面積	kg・CO2 /m2			26.7				26.3
削減率	%	100		3.0				4.4

注1「平成18年度の二酸化炭素排出量の算定のため、電力事業者ごとに二酸化炭素の排出の程度を示す係数で特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令第2条第4項及び第7項の係数に相当するもの」(平成19.3.23 経産・環告3)(改正 平成19.4.13 経産・環告4)の中部電力(株)の値(0.000452 t-CO2/kwh)を使用して算出した。(弊社の平成19年度は、平成17年10月～平成18年9月)

平成18年度に設備更新した省エネタイプのアエアコン2台の効果が、平成19年度に現れた。最も効果が現れたのが冬季である。従来は暖房用に石油ストーブを使用していたが、平成19年度は省エネタイプのアエアコンを稼働させたため、灯油の使用量が大幅に削減した。その結果、電気の使用量は増加しCO2排出量が増えたが、それ以上に灯油のCO2排出量が減り、CO2排出量合計としては削減できた。平成19年度は目標 3% 削減に対して、4.4% の削減ができた。

② 社外(業務用車)のCO2排出量削減推移

項目	使用量 単位	3年間平均値 基準値 kg・CO2	平成19年度目標		平成19年度実績		
			目標	CO2排出量 kg・CO2	使用量	換算値 kg・CO2	CO2排出量 kg・CO2
ガソリン	リットル	50,820	基準値から 3%削減	49,295	20,050	2.322	46,556
全走行距離	km				185,000		
燃費	km/リットル				9.2	9.2	
CO2排出量 /距離	kg・CO2 /千km	261.0		253.2			251.7
削減率	%	100		3.0			3.6

平成19年度は、(業務用車の台数に変動は無い)燃費目標の 9.2km/リットル を達成できた。また、千km当たりのCO2排出量も、目標の253.2⇒実績 251.7kg-CO2/千kmと達成できた。これは、アイドリングストップやエコ運転の意識による効果が現れたと推定される。その結果、平成19年度は目標 3% 削減に対して、3.6% の削減ができた。

2. 上水の使用削減推移

項目	単位	3年間平均値 基準値 使用量	平成19年度目標	平成19 年
			目標	使用量
上水	m3	158	基準値を維持	162
人員	人	16.5	但し平成19年度は 平成18年度実績の 2%削減=9.9m3/人	16.5
単位使用量	m3/人	9.60		9.82
達成率				100.8

平成18年度は、回覧、張り紙等による節水を呼びかけたが、使用量が182m3となり、社員一人当たりの使用量も10.11m3、平成16,17年平均比108%と増加してしまっただ。これは、毎日作業用軍手等を洗濯しているのと、作業用給湯器付手洗い場を増設したことによる。平成19年度は、洗濯物が規定量になった段階で洗濯をする等、全員が一丸となって節水活動を展開した。その結果、平成19年度は目標9.9m3/人に対して、9.82m3/人と達成できた。

3. 廃棄物の分別徹底による再資源化(リサイクル推進)

数値目標の設定が困難なため、定量的な評価をせず、環境啓蒙活動、掲示物、廃棄物置場の明示等により、分別・リサイクルがかなり浸透してきていると判断できる。

4. 廃棄消火器と消火薬剤缶の回収徹底による資源の再利用推進

項目	単位	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年度目標	平成19 年
		回収量	回収量	回収量	回収量	回収量
廃棄消火器	本	4,346	4,174	3,230	回収の徹底による	5,878
廃棄缶	缶	1,152	583	904	資源の再利用推進	738

客先の事情により数量が大きく変動するため、当面、参考数値としての把握に留める。

5. グリーン購入・供給の推進

- ①事務用品は、環境マーク表示商品を優先的に選択するように推進した。
- ②エコ商品の提供については、エコマーク認定消火器の情報提供を積極的に推進した。
弊社のホームページに環境レポートを掲示するとともにエコマーク認定消火器の商品をアピール。

大川商会へようこそ

活動方針

営業案内

お知らせ

採用情報


お問い合わせ

アクセス

▶ 大川商会のホームページへようこそ！

▶ 会社概要 <http://www.okawa-shokai.jp>

弊社は防災にむかえる企業として、社員一人ひとりがエコマインドを持ち、住みよい社会、循環型の実現に能力を貢献できることを願っています。



環境にやさしい強化液消火器による消火訓練

7/20/2006 16:00PM

☆ ご家庭にも火災感知器の設置が義務付けられました。

消防法の改正により、2006年6月から、全ての住宅に火災感知器の設置が義務付けられました。

※ 新築住宅については、平成18年6月1日から

※ 既存住宅については、各市町村条例により、平成20年6月1日～平成23年6月1日の間で、設置義務化の期日が定められます。ちなみに名古屋市では平成20年6月31日までに設置が必要となります。

▼ 概要表示 ▼ 文外印刷

5/15/2006 1:28 PM

☆ 古い消火器にご注意！

消火器は屋外などに長く置かれた場合、雨水などにより、下部が腐食していることがあり、内部の圧力により底が抜けて消火器自体が飛び上がる場合があります。このことにより、死亡事故も起きています。特に粉末型消火器は安全ピンを抜き、レバーを押し下ろすだけで噴射する事故が多発しています。またレバーを押すと同時に消火器の上の筒が来る状態になるため、大変危険です。家庭用の消火器には点検の義務はありませんが、もし古い消火器があった場合には専門業者に処理を依頼してください。

大川商会でも処分を承りますので消火器の台数にかかわらずご相談ください。

消火器のチェック項目

- ・本体の上部もしくは底近くの溶接部分にヒビや砂がみなどはありますか？
- ・消火器本体に腐食やヒビ、変形などはありますか？
- ・一般家庭には消火器の設置、点検の義務はありませんが、万一に備えて設置することをお勧めします。5年程度経過したもの、傷や錆びがある場合は専門業者に依頼して点検を受けることをお勧めします。

処分する場合の注意

- ・消火器はゴミとして廃棄できません。産業廃棄物として処理業者に処分を依頼してください。
- ・消火器の点検整備には資格と専用工具が必要です。危険です。分岐などしないでください。
- ・購入した物の業者もしくは目録の照合する消火器処分業者にご連絡ください。

(大川商会は 当業種唯一のISO9001、エアークラウド21認証取得の防災専門会社です。)

今後の取組みと平成20年度の目標

- 1 事務所内、及び社外のエネルギー削減については、今回設定した中期目標に基づきCO2排出量の削減目標に向けて継続的に取り組む。

① 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、キッチン用エネルギー(都市ガス))のCO2排出量削減

中期目標 平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年までに CO2排出量を 6% 削減する。

平成20年度目標 基準値の4%削減する。
11,021 kg-CO2 ⇒ 10,580 kg-CO2

② 社外(業務用車)のCO2排出量削減

中期目標 平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年までに CO2排出量/距離を 6% 削減する。

平成20年度目標 基準値の4%削減する。
261.0 kg-CO2/千km ⇒ 250.6 kg-CO2/千km

- 2 上水使用量の節減については、生活用水が主体のため、節水に心がけることとする。

中期目標 平成16年から平成18年の3年間の平均値を基準として、平成22年まで基準値を維持する。

平成20年度目標 基準値を維持する。
9.6m3/人

- 3 廃棄物の分別徹底による再資源化については、引き続き活動を推進する。

廃棄物の分別徹底による再資源化(リサイクル推進)

- 4 回収消火器と消火薬剤の回収は、営業や教宣活動を行い、積極的に回収活動する。

廃棄消火器と消火薬剤缶の回収徹底による資源の再利用推進

- 5 エコマーク認定消火器の積極的啓蒙活動を推進し、顧客側の消火器リニューアルを推進する。

エコマーク認定消火器の積極的啓蒙活動の推進

環境法規等要求事項と順守状況

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 同上 施行規則
 愛知県条例 県民の生活環境の保全等に関する条例
 名古屋市条例 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例
 名古屋市条例 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
 名古屋市条例 名古屋市空き缶等の散乱の防止に関する条例

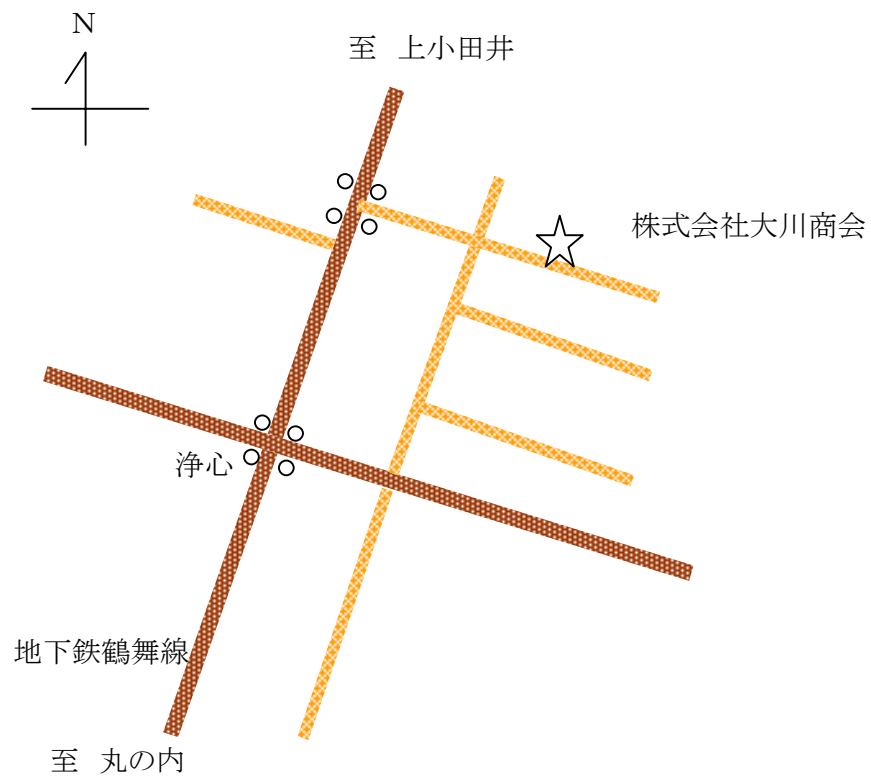
 要求事項 廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、再利用、廃棄物保管場所の設置
 適正処理の情報提供、及び国・県・市の施策への協力
2. 労働安全衛生法
 要求事項 化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置
 化学物質の掲示、備付け及び周知
 指定化学物質等の譲渡時、性状及び取扱情報の提供義務(MSDSの提供)
3. 高圧ガス保安法
 要求事項 高圧ガスの製造、貯蔵、移動、消費時の取扱規制基準の順守
4. 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
 名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例
 要求事項 特定物質の排出の抑制及び使用の合理化
 オゾン層破壊物質の適正な回収・処理と、排出防止
5. 愛知県条例 県民の生活環境保全等に関する条例
 名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例
 要求事項 自動車の駐停車時、従業員へ原動機を停止するよう指導
 駐車場内において自動車の原動機を停止すべきことを周知するための措置
 アイドリングストップの励行
6. 業界 取引先様からのグリーン調達ガイドライン
 要求事項 環境管理システムの構築

順守状況 上記法律・条例に関し、全て順守しています。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反は有りません。 なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間有りません。

お問合せ・地図



地下鉄 鶴舞線 「浄心」1番出口より北へ100m、最初の信号を右折、50m先左側

〒451-0025 名古屋市西区上名古屋2丁目23番10号

TEL 052-532-1231

FAX 052-532-1339

URL <http://www.okawa-shokai.jp>

問合せ nakano@okawa-shokai.jp